

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	池田つむぐプロジェクト
事業主体 (連絡先)	池田つむぐプロジェクトチーム Mail: ikeda.tumugu@gmail.com
事業区分	1, 3, 8
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	834,352 円 (うち支援金: 627,000 円)

事業内容

池田つむぐプロジェクトは、「池田町の未来を若者が調べ考え紡ぎだす」をテーマに今年度から始まりました。3年間の実施計画で、今年度のテーマは「地域を知る」です。6月/8月/11月/12月の合宿を通して、6つの課題チームごと街歩きやインタビュー調査などを実施し、12月の「池田未来会議」で成果を地域の方々と共有しました。つむぐの特徴は、大学の枠を超えて学生が活動していることです。今年度は長野大学・信州大学・山梨学院大学の学生25名が参加し、長野大学からは松下ゼミとコミュニティ活動履修者が参加しました。また大学生事業以外に、池田町立高瀬中学校との連携等もしました。

事業効果

1に関しては、池田町内で活動している個人や団体が多数あるにもかかわらず横のネットワークが無いことが課題としてあったが、池田未来会議当日、約100名の参加者があり参加者同士が普段の所属を超えてWSを行ったり、終了後に学生を介して交流が生まれるなど一定程度の効果があった。2に関しては、信州大学と長野大学、特定非営利法人SCOPの研究者や教授陣の知恵と学生が日常的に受けている授業の中での学びを池田町というリアルな場に当てはめることで合宿時のインタビューや池田未来会議で活発な世代間交流と知の還元を行うことができた。

今後の取り組み

来年度からは、今年参加していた学生が主体となって実行委員会を運営しマネタイズ等もしていく予定である。その一方で、新しいメンバーの募集や具体的なアクションの内容、信州大学特有のたこ足キャンパスという事情を克服して活動する方法など検討していかなければならない課題は山積みであり、引き続き地域の方々や行政の方々にアドバイスをいただきながらプロジェクトを進めていきたい。



【6月合宿での集合写真】

【目標・ねらい】

- 1, 地域で活動する個人や団体の横のネットワークを作る。
- 2, 大学生の知を地域に還元すると同時に、世代間交流を促進する。

※自己評価【B】

【理由】 初年度であったが信州大学/長野大学の学生たちと地域の人たちのつながりを作ることができた。その一方で実際に課題解決に繋がる活動にはあまり入れなかった。